

生命科学は人類に何をもたらすか？

—生命科学各領域の挑戦—

「生きていること」への問いは、人類の最も根源的な問いであり、最先端の生命科学が追い求めている問いでもあります。「生きていること」の様々な面を科学の光で照らす生命科学は、今や医療や食糧、環境などのあらゆる分野で我々の生活や社会を支え、持続させる大きな力へと発展を遂げました。さらにこの新しい知の領域の富は、生命倫理の論議などで我々が依拠する価値観を揺さぶるほどのインパクトを持つに至っています。

日本学術会議第二部会はこの夏、東北大学附属図書館において「解体新書」、「蘭学事始」、「和蘭医事問答」等の展示見学会、広範な生命科学の各領域を代表する科学者が一堂に会するシンポジウムを、杜の都仙台の地において東北大学と共催で開催することを企画しました。生命を守り、次代へとつなぐために、今我々に何ができるのかを、各領域の専門家の展望や提言に基づいて、ご参加いただく多くの県民・市民の方々とともに考えたいと願っております。

日時 平成22年8月27日(金) 展示見学会 9:30~10:30
公開シンポジウム 13:00~18:05

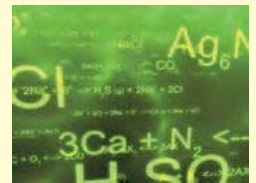
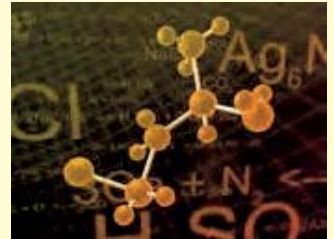
場所 展示見学会 東北大学 附属図書館 (仙台市青葉区川内27-1)
公開シンポジウム 東北大学 片平さくらホール (仙台市青葉区片平二丁目1-1)

次 第

展示見学会 (東北大学附属図書館: 川内)

公開シンポジウム (東北大学片平さくらホール)

1. 開会挨拶 金澤 一郎 日本学術会議会長
井上 明久 東北大学総長
2. 基調講演 「『腑分け』の描写—『解体新書』を解剖する—」
吉田 忠 東北大学名誉教授
3. 講演 「安全の科学からの報告」
唐木 英明 日本学術会議副会長、東京大学名誉教授
「畜産学からの報告」
佐藤 英明 東北大学大学院農学研究科教授
「感染症と医薬化学からの報告」
柴崎 正勝 (財)微生物化学研究会微生物化学研究所長 (化学)
「再生科学と再生医療からの報告」
浅島 誠 日本学術会議第二部長、東京大学名誉教授
「糖尿病・代謝学からの報告」
片桐 秀樹 東北大学大学院医学系研究科教授
「最先端のがん研究からの報告」
野田 哲生 癌研究会癌研究所所長
「神経科学からの報告」
大隅 典子 東北大学大学院医学系研究科教授
「口腔健康科学からの報告」
島内 英俊 東北大学大学院歯学研究科教授
「細胞のバイオメカニクスからの報告」
佐藤 正明 東北大学大学院医工学研究科長、教授



主催：日本学術会議、東北大学
後援：日本医歯薬アカデミー、日本農学アカデミー、財団法人辛酉会、

河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、
毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、NHK仙台放送局、
TBC東北放送、仙台放送、三洋テレビ、KHB東日本放送、
東北大学グローバルCOEプログラム3拠点
「脳神経科学を社会へ還流する教育研究拠点」、
「新世紀世界の成長焦点に築くナノ医工学拠点」、
「Network Medicine創生拠点」

入場無料

お問合せ先：東北大学研究協力課
TEL 022-217-4840
e-mail: kenkyo@bureau.tohoku.ac.jp